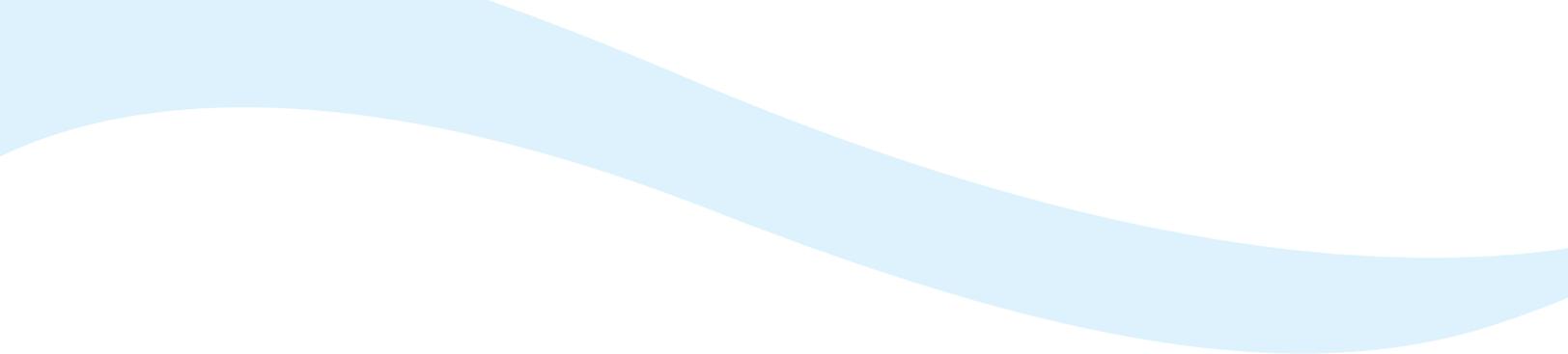


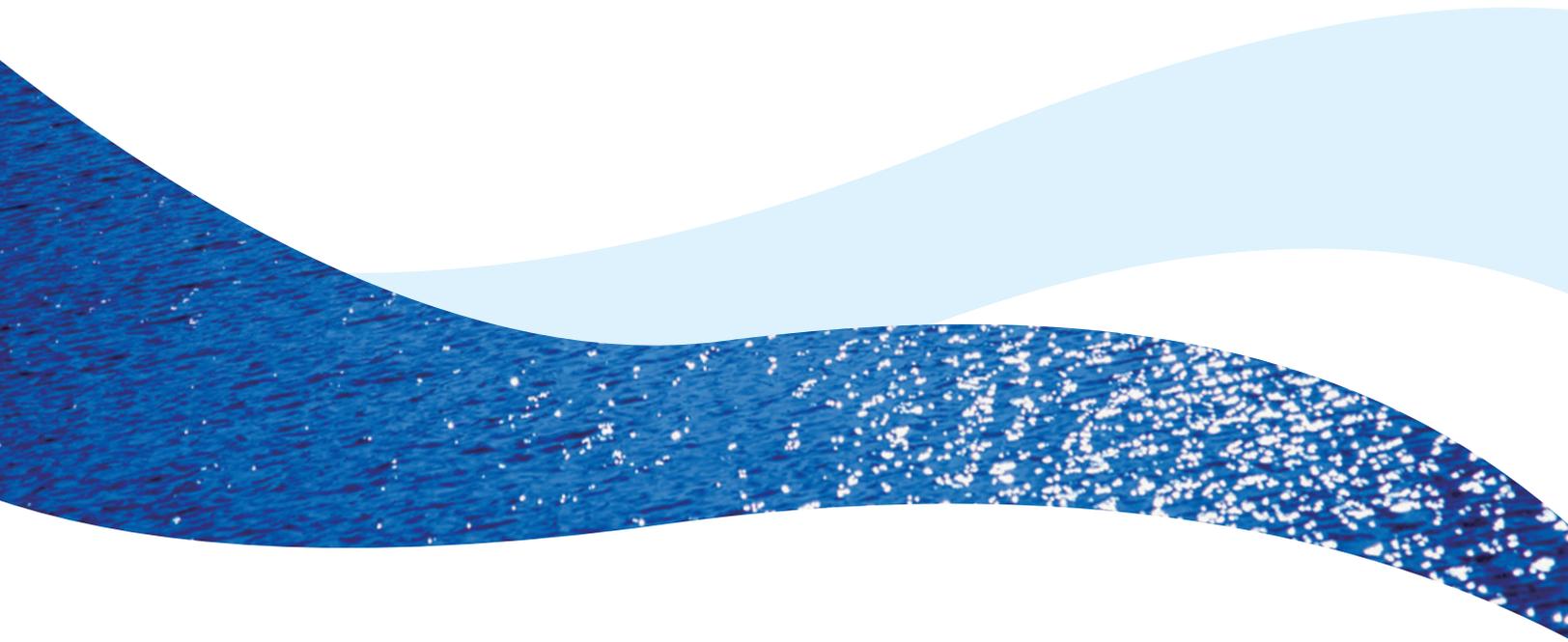
第2回 四国におけるフェリー・RORO船を活用した物流効率化推進協議会

フェリー・RORO船利用促進PRパンフレット

平成29年3月13日



四国のフェリー・RORO 船の就航状況
海を使った物流の効率化のご提案



平成29年3月
四国におけるフェリー・RORO 船を活用した
物流効率化推進協議会

1. はじめに . . .	1
2. フェリー・RORO 船の特徴 . . .	2
3. 新たな高速交通ネットワークの形成 . . .	3
4. 四国におけるフェリー・RORO 船全体就船図 . . .	4
5. 四国に寄港する主なフェリー・RORO 船運航会社一覧	
5-1. オーシャントランス株式会社 . . .	5
5-2. 南海フェリー株式会社 . . .	6
5-3. ジャンボフェリー株式会社 . . .	7
5-4. 四国フェリー株式会社 . . .	8
5-5. 四国開発フェリー株式会社 . . .	9
5-6. 九四オレンジフェリー株式会社 . . .	10
5-7. 瀬戸内海汽船株式会社 . . .	11
5-8. 防予フェリー株式会社 . . .	12
5-9. 石崎汽船株式会社 . . .	13
5-10. 松山・小倉フェリー株式会社 . . .	14
5-11. 宇和島運輸株式会社 . . .	15
5-12. 国道九四フェリー株式会社 . . .	16
5-13. 株式会社 宿毛フェリー . . .	17
5-14. 大王海運株式会社 . . .	18
5-15. 日本通運株式会社 . . .	19
6. モーダルシフトによる荷主・ユーザーの喜びの声 . . .	20

1. はじめに ～輸送の進化に対応した海上輸送のあり方～

四国は四方を海に囲まれ、港湾を利用する海上輸送と地域の産業、住民生活との関わりが深い地域です。

この四国における海上輸送でも重要な役割を果たしているのがフェリーやRORO 船です。フェリーや RORO 船は、トラックなどの車両がそのまま乗船することが可能で、陸上輸送と比べると定時性の確保や環境への負荷が少ないなどのメリットがあります。しかし近年では、航路数や取扱貨物量が減少傾向にあり、こうしたメリットが十分に発揮できていない状況にあります。一方、陸上輸送はトラックドライバーの高齢化や深刻な担い手不足が懸念されるほか、排出ガスなどの問題が指摘されています。

これまで、地球温暖化対策の観点から、環境負荷の低い輸送モードを選択する「マルチモーダル」が進められてきました。また、輸送の効率性の追求の観点から、陸上輸送と海上輸送の効果的な接続を求める「インターモーダル」が展開されてきたところです。最近では、これらの観点に加えて、人材不足への対応の観点から、海上輸送と陸上輸送の垣根を越えて一体化して効率性を追求する「トランスモーダル」という新しい輸送形態が議論されるようになってきています。

こうした中、政府は、物流生産性革命の実現を目指すこととしており、平成 28 年 5 月に関係する物流効率化法が一部改正されるなど、物流事業者や荷主などの関係者が、連携して物流の効率化に取り組むことへの重要性が高まっています。四国でもフェリー・RORO 船ターミナルや高速道路網の整備により広域的な輸送ネットワークが整いつつあります。また、新たな大型船投入の動きもあります。

このような状況を踏まえ、「四国におけるフェリー・RORO 船を活用した物流効率化推進協議会」では、フェリー・RORO 船の利用促進を目指し、本冊子「四国のフェリー・RORO 船の就航状況～海を使った物流の効率化のご提案～」を作成しました。

本冊子では、四国の港湾に就航しているフェリー・RORO 船に関する各種情報やフェリー・RORO 船の活用による物流効率化の事例などをご紹介します。

物流の効率化を検討している荷主や運送事業者の皆様は是非、お読みください。フェリー・RORO 船に関する理解を深め、実際に利用を検討する際の一助となれば幸いです。

2. フェリー・RORO船の特徴

① 特徴

フェリーや RORO 船は、貨物を積載したトラックやトレーラー等の車両をそのまま船内へ積み込んで輸送することが可能です。このため、一般の貨物船のようにクレーンなどによる貨物の積み替え作業を必要としないため、陸上と海上の接続をシームレスに行うことができます。

また、トラックによる陸上輸送に比べ、大量輸送が可能で、二酸化炭素 (Co2) の排出量も少ないため地球環境に優しい輸送機関です。

RORO 船とは・・

roll on roll off の略。

構造的にはフェリーと同じ車両を運搬する貨物船ですが、旅客や乗用車は対象としておらず、貨物車両の運搬に特化したものを指します。

② メリット

トラック事業者のメリット

- ・フェリー輸送(無人化航走)でドライバー不足を解消
- ・長時間運転の解消によるドライバーの労務管理の改善
- ・交通事故のリスク軽減
- ・事業者の信頼性の向上

荷主のメリット

- ・海上輸送への転換による物流コストの低減
- ・事故や渋滞等による遅延リスクの解消(定時性の確保)
- ・生鮮食品や精密機械などの荷痛みのリスクの軽減

社会全体に与える効果

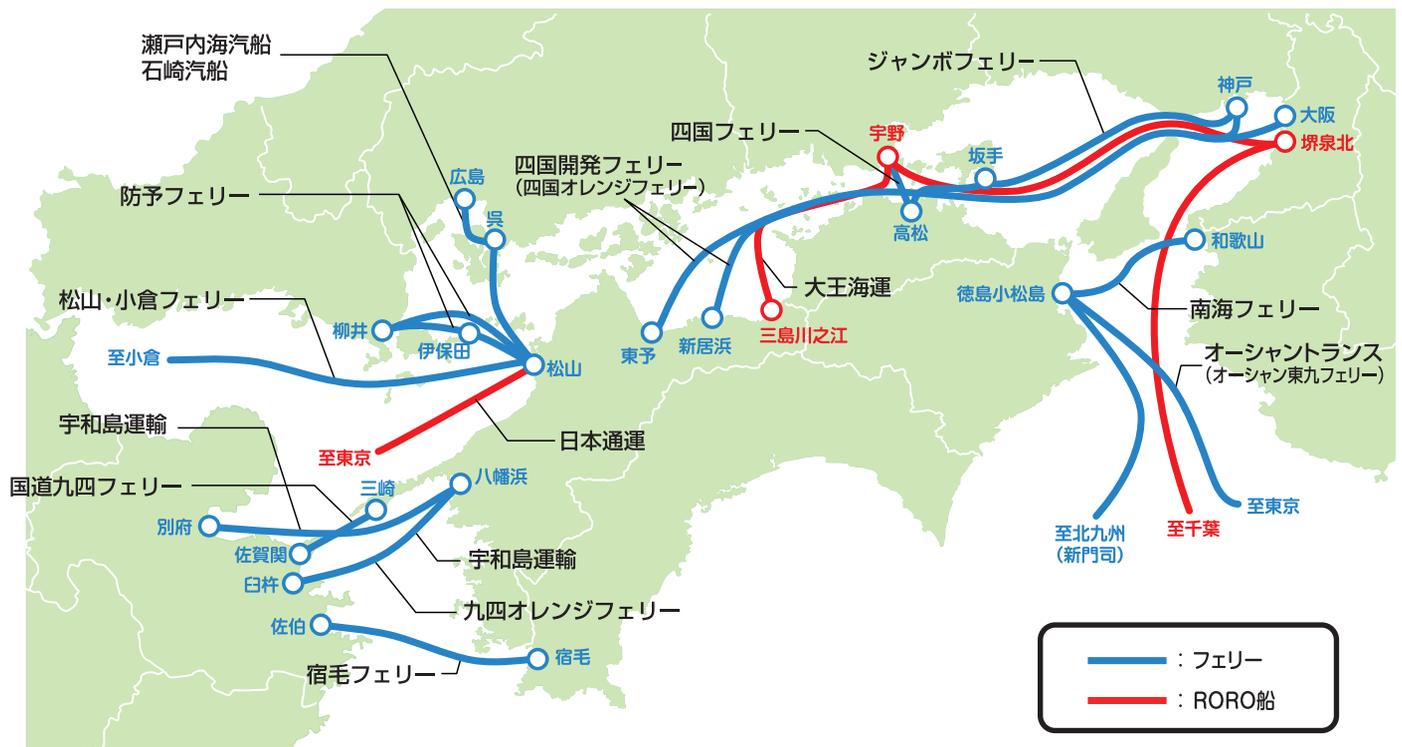
- ・CO2排出量の削減等による環境負荷の軽減
- ・大規模災害時において緊急物資を大量輸送することが可能

4. 四国におけるフェリー・RORO 船全体就航図

四国と本州・九州を結ぶ内航海運は週あたり616便が運航しています。(フェリー:週609便、RORO船:週7便)(平成28年11月現在)

これらの船舶の貨物の輸送能力はトラック・トレーラーあわせて、週あたり19,648台/週に相当します。(フェリー:18,888台/週、RORO船:760台/週)

四国におけるフェリー・RORO 船の航路図



方面別就航航路一覧表

方面	就航航路	便数	運航会社	詳細掲載頁
関東方面	北九州-徳島-東京	1便/日	オーシャントランス(オーシャン東九フェリー)	P-5
	三島川之江-宇野-堺泉北-千葉	6便/週	大王海運	P-18
	博多-松山-東京	1便/週	日本通運	P-19
近畿方面	徳島-和歌山	9便/日	南海フェリー	P-6
	高松-坂手-神戸	4便/日	ジャンボフェリー	P-7
	三島川之江-宇野-堺泉北-千葉	6便/週	大王海運	P-18
	東予-大阪、新居浜-神戸	各1便/日	四国開発フェリー(四国オレンジフェリー)	P-9
中国方面	宇野-高松	10便/日	四国フェリー	P-8
	松山-呉-広島	10便/日	瀬戸内海汽船	P-11
	松山-伊保田-柳井	10~13便/日	防予フェリー	P-12
	松山-呉-広島	10便/日	石崎汽船	P-13
九州方面	北九州-徳島-東京	1便/日	オーシャントランス(オーシャン東九フェリー)	P-5
	松山-小倉	1便/週	松山・小倉フェリー	P-14
	博多-松山-東京	1便/週	日本通運	P-19
	八幡浜-臼杵	7便/日	九四オレンジフェリー	P-10
	八幡浜-別府	6便/日	宇和島運輸	P-15
	八幡浜-臼杵	7便/日	宇和島運輸	P-15
	佐賀関-三崎	17便/日	国道九四フェリー	P-16
宿毛-佐拍	3便/日	宿毛フェリー	P-17	

5. 四国に寄港する主なフェリー・RORO 船運航会社一覧

5-1. オーシャントランス株式会社

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

オーシャン東九フェリー

営業企画部：088-636-0112
HP:<http://www.otf.jp>

ダイヤ			便数▶1便/日		
下り便(出発日)		港		上り便(到着日)	
月・火・水・木・土	金※1	日	東京	水・木・金・土・月	日(祝祭日)
19:30発(1日目)	19:30発	18:00発		05:40着(3日目)	06:20着
↓	↓	↓		↑	↑
13:20着(2日目) 火・水・木・金・日	14:20着 土	13:20着 月	徳島	11:30発(2日目) 火・水・木・金・日	11:30発 土
14:20発(2日目)	15:20発	14:20発		09:30着(2日目)	09:30着
↓	↓	↓	北九州	↑	↑
05:40着(3日目)	06:20着	05:40着		19:00発(1日目)	19:00発
水・木・金・土・月	日(祝祭日)	火		月・火・水・木・土	金※2
下り便(到着日)		港		上り便(出発日)	

※1 北九州への到着日が祝祭日となる出発便のダイヤについても同じダイヤになります。※2 東京への到着日が祝祭日となる出発便のダイヤについても同じダイヤになります。(H29.1.1時点) 赤文字/土曜日及び祝祭日の前日の徳島発北九州行は出港時刻が15:20発となります。月曜日の徳島発東京行は出港時刻が11:10発となります。



東京(有明)のりば

〒135-0063
東京都江東区有明4丁目8番6号
TEL:03-3528-1011
FAX:03-3528-1013



徳島(沖洲)のりば

〒770-0873
徳島県徳島市東沖洲2丁目66番地2
TEL:088-636-0109
FAX:088-636-0115



北九州(新門司)のりば

〒800-0113
北九州市門司区新門司北1丁目12番地
TEL:093-481-7711
FAX:093-481-7720

船舶諸元

船名	フェリーびざん、フェリーしまんと フェリーどうご、フェリーりつりん
総トン数	12,636トン
就航隻数	4隻
旅客定員	266名/隻
積載可能車両台数	13mトレーラー188台・乗用車80台/隻



フェリーびざん



フェリーしまんと



フェリーどうご



フェリーりつりん

セールスポイント

海上混載サービス(首都圏/四国/九州 海上混載便)

大量輸送機関である船舶輸送には、中小ロットの商品輸送は不向きと言われてきましたが、トラックやトレーラーで集荷した荷物を港付近の倉庫で20tトレーラーに積み合わせてから当社フェリーへ積み込むことで、中小ロットの荷物を海上輸送へモーダルシフトすることが可能になりました。※各港より約100km圏内は集荷日より最短で3日目配送可能。

100km以上の場合は最短で4日目配送になります。

※重量1t以下、長さ、幅各1.1m以内、高さ2m以内のご利用でお客様による港への持込、引き取りの場合(当社手配による集荷、配達無しの場合、税抜き)

徳島⇄北九州 1t8,000円、東京⇄徳島 1t12,000円、東京⇄北九州 1t13,000円～



就航航路

東京 - 徳島 - 北九州

ダイヤ

便数▶9便/日 (上下1便は、通年休航。季節・条件等により運航する場合がございます。)

下り便			上り便		
便	和歌山港発	徳島港着	便	徳島港発	和歌山港着
1 便	休航		1 便	休航	
2 便	2:40	4:55	2 便	2:55	5:10
3 便	5:35	7:35	3 便	5:35	7:50
4 便	8:30	10:35	4 便	8:00	10:10
5 便	10:35	12:50	5 便	11:00	13:05
6 便	13:40	15:55	6 便	13:25	15:40
7 便	16:25	18:30	7 便	16:30	18:35
8 便	19:15	21:25	8 便	18:55	21:05
9 便	21:40	23:55	9 便	21:50	24:05

(H29.1.1時点)



和歌山港のりば

〒640-8404
和歌山県和歌山市湊 2835 番 1
TEL:073-422-2156
FAX:073-431-4434



徳島港のりば

〒770-0874
徳島県徳島市南沖洲五丁目7番39号
TEL:088-636-0750
FAX:088-636-0789

船舶諸元

船名 フェリーつるぎ
総トン数 2,604トン
旅客定員 427人
積載可能車両台数 8tトラック 39台/隻

船名 フェリーかつらぎ
総トン数 2,620トン
旅客定員 427人
積載可能車両台数 8tトラック 39台/隻



フェリーつるぎ



フェリーかつらぎ

セールスポイント

1日8往復 16便

四国徳島と南近畿和歌山間を約2時間で結んでおり、昼夜を問わずいつでもご利用いただけることがメリットです。

走行距離の短縮は勿論、船内にはドライバーズルームもあり、約2時間の運航時間はドライバーの皆様の休憩にもピッタリです。

アクセスは徳島港へ徳島自動車道の徳島ICから約15分、和歌山港からは阪和自動車道の和歌山ICへ約15分で、順次開通している京奈和自動車道にも近く、中部エリアへの新たなルートとしてもご検討ください。



就航航路

和歌山 - 徳島



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
 営業部:087-851-3355、078-327-3111
 HP:http://www.ferry.co.jp

ダイヤ 便数▶4便/日(小豆島便は3便/日)

下り便					上り便						
便	神戸 ↑ 高松	平日ダイヤ		土休日ダイヤ		便	神戸 ↓ 高松	平日ダイヤ		土休日ダイヤ	
		神戸発	高松着	神戸発	高松着			高松発	神戸着	高松発	神戸着
1便		1:00	5:15	0:45	5:00	1便		1:00	5:15	1:00	5:15
2便		*6:00	10:45	*8:00	12:30	2便		*6:15	10:55	*6:00	10:30
3便		*14:00	18:30	*11:15	15:45	3便		*14:30	19:00	*14:20	19:00
4便		*20:00	24:10	*19:45	24:10	4便		*19:30	24:00	*16:20	20:55

*小豆島経由

便	神戸 ↓ 小豆島(坂手)	神戸発		坂手着		便	神戸 ↑ 小豆島(坂手)	坂手発		神戸着	
		神戸発	坂手着	神戸発	坂手着			坂手発	神戸着	坂手発	神戸着
1便		*1:00	7:30	*0:45	7:15	1便		7:30	10:55	7:15	10:30
2便		6:00	9:30	8:00	11:10	2便		15:45	19:00	15:45	19:00
3便		14:00	17:15	11:15	14:25	3便		20:45	24:00	17:45	20:55
4便				19:45	22:55	4便				*22:55	5:15

*高松経由

便	高松 ↑ 小豆島(坂手)	坂手発		高松着		便	高松 ↓ 小豆島(坂手)	高松発		坂手着	
		坂手発	高松着	坂手発	高松着			高松発	坂手着	高松発	坂手着
1便		9:30	10:45	11:15	12:30	1便		6:15	7:30	6:00	7:15
2便		17:15	18:30	14:30	15:45	2便		14:30	15:45	14:20	15:35
3便				22:55	24:10	3便		19:30	20:45	16:20	17:35

(H29.1.1時点)



ジャンボフェリー高松のりば
 〒760-0065
 高松市朝日町5丁目12番1号
 TEL:087-811-6688



ジャンボフェリー神戸のりば
 〒650-0041
 神戸市中央区新港町3番7号
 TEL:078-327-3322

船舶諸元

船名	りつりん2、こんびら2
総トン数	3,638トン、3633トン
就航隻数	2隻
旅客定員	475名/隻
積載可能車両台数	12mトラック61台、乗用車38台/隻



りつりん2

セールスポイント

一貫輸送サービス

国際海上コンテナ輸送から国内雑貨輸送まで、フレコン、機械物、鉄骨、乗用車、トラックから野菜、冷凍食品まであらゆる輸送に対応しています。また、輸送行程の中に自社カーフェリーを組み込むことで輸送費用の削減だけでなく、環境にも優しい物流を実現しています。



就航航路

神戸 - 高松・神戸 - 小豆島
 高松 - 小豆島

5-4. 四国フェリー株式会社



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
高松営業所営業部:087-851-0131
HP:<http://www.shikokuferry.com>

ダイヤ 便数▶5便/日

便	下り便		便	上り便	
	宇野発	高松着		高松発	宇野着
1 便	6:25	7:30	1 便	7:50	8:55
2 便	9:15	10:20	2 便	10:35	11:40
3 便	11:50	12:55	3 便	13:05	14:10
4 便	15:45	16:50	4 便	17:05	18:10
5 便	18:20	19:25	5 便	19:50	20:55

(H29.4.1時点)



高松のりば

〒760-0019
 香川県高松市サンポート8番22号
 TEL:087-802-6611
 FAX:087-802-6622



宇野のりば

〒706-0002
 岡山県玉野市築港1丁目 7352-13
 宇野港フェリーセンター内
 TEL:0863-31-4244
 FAX:0863-32-0183

船舶諸元

- 船名 第一しよどしま丸
- 総トン数 987トン
- 就航隻数 1 隻
- 旅客定員 490名/隻
- 積載可能車両台数 8tトラック 22台/隻
(12tトラック 13台
もしくは乗用車 60台)



第一しよどしま丸

セールスポイント

歴史ある物流

本州・四国間の物流を支えてきた歴史があり、岡山県宇野港発着の RORO 船に最短アクセス
 できます。一般道を走行できる車輛は乗船可能です。(例)全長 24m 全巾 4m 全高 4.2m 重量 50t 等
 道路の損傷も防ぐことができ、燃料・オイル、タイヤの消費が少なくなりますので、
 輸送コストが軽減できます。乗船中はドライバーが休憩できますので、安全運転につながります。



就航航路

高松 - 宇野



ダイヤ 便数▶1便/日

東予港～大阪南港		
船名	東予発 上り便	大阪南発 下り便
おれんじ7 (旅客フェリー)	東予 22:30 発	大阪 22:00 発
	↓	↓
おれんじ8 (旅客フェリー)	大阪 6:10 着	東予 6:00 着

新居浜東港～神戸六甲		
船名	新居浜東発 上り便	神戸六甲発 下り便
おれんじ7 (カジュアルフェリー)	新居浜 16:30 発	神戸 1:10 発
	↓	↓
おれんじ8 (カジュアルフェリー)	神戸 23:50 着	新居浜 8:10 着

(H29.1.1時点)



東予港

〒799-1362
西条市今在家 1500 番地 2



大阪南港

〒559-0032
大阪市住之江区南港南 2-2-24



新居浜東港

〒792-0873
新居浜市垣生 3 丁目乙 306-2



神戸港 (六甲バース)

〒658-0031
神戸市東灘区向洋町東 3 丁目 2-2

船舶諸元

船名	おれんじ7	おれんじ8	おれんじホープ
総トン数	9,917トン	9,975トン	15,732トン
旅客定員	708名	708名	218名
積載可能車両台数	トラック 122 台 乗用車 42 台	トラック 122 台 乗用車 42 台	トラック 160 台



おれんじ7



おれんじ8



おれんじホープ

セールスポイント

効率的なドアツードア輸送 / 国際貨物も阪神港にフィーダ輸送

- ・国内貨物、国際貨物全般を対象に、集荷からフェリー航送、配達までドアツードアのシームレス海陸複合一貫輸送をご提案し、安心安全で確実なデイリー輸送で強くモデルシフトを推進します。
- ・無人車航送により運転手は長距離運転から解放されて日帰り勤務が可能となり、有人車も乗船時間=休憩時間となるので、運転手の心身リフレッシュや労働法令遵守・労務管理上非常に有効です。求人条件の向上にもつながります。
- ・環境に優しく大きな CO2 削減、省エネを実現します。
- ・その他、弊社倉庫の利用や九四オレンジフェリー航路とも連携も含め、需要に応じた輸送を提案できます。



就航航路

東予 - 大阪
新居浜 - 神戸

ダイヤ 便数▶7便/日

下り便			上り便		
便	八幡浜港発	臼杵港着	便	臼杵港発	八幡浜港着
101 便	1:15	3:40	201 便	4:45	7:05
102 便	2:50	5:15	202 便	7:45	10:00
103 便	8:40	11:05	203 便	11:35	13:55
104 便	12:45	15:10	204 便	15:40	18:00
105 便	14:35	17:00	205 便	17:30	19:50
106 便	18:45	21:10	206 便	22:20	00:40
107 便	21:00	23:25	207 便	23:55	2:15

(H29.1.1時点)



八幡浜港

〒796-0087
 愛媛県八幡浜市沖新田 1586 番地



臼杵港

〒875-0034
 大分県臼杵市板知屋 1257-7

船舶諸元

船名	おれんじ四国 (2,918トン) おれんじ九州 (2,924トン)
就航隻数	2 隻
旅客定員	485 名/隻
積載可能車両台数	8tトラック 37 台 乗用車 37 台/隻



おれんじ四国



おれんじ九州

セールスポイント

効率的なドアツードア輸送／九州～本州間のショートカット!

- ・集荷からフェリー航送、配達までドアツードアのシームレス海陸複合一貫輸送をご提案し、安心安全で確実な輸送でモーダルシフトを推進します。
- ・無人車航送により運転手は長距離運転から解放されて日帰り勤務が可能となり、有人車も乗船時間=休憩時間となるので、運転手の心身リフレッシュや労働法令遵守・労務管理上非常に有効です。求人条件の向上にもつながります。
- ・九州地域～関西以東の地域のショートカットルートとしても便利な航路です。
- ・環境に優しく大きな CO2 削減、省エネを実現します。
- ・その他、オレンジフェリー関西航路とも連携を含め、需要に応じた輸送を提案できます。



就航航路

八幡浜 - 臼杵

5-7. 瀬戸内海汽船株式会社



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
航路事業部:082-253-1212
HP:<http://setonaikaikisen.co.jp>

ダイヤ 便数▶10便/日

下り便				上り便			
便	広島港発	→ 呉(中央棧橋)	→ 松山観光港着	便	松山観光港発	→ 呉(中央棧橋)	→ 広島港着
1便	5:45	—	8:10	1便	6:25	8:20	9:05
2便	6:45	7:30	9:25	2便	8:15	10:20	11:05
3便	8:15	9:00	10:55	3便	9:35	11:30	12:15
4便	9:20	10:05	12:00	4便	11:05	13:00	13:45
5便	11:20	12:05	14:00	5便	12:15	14:10	14:55
6便	12:25	13:10	15:05	6便	14:15	16:10	16:55
7便	13:55	14:40	16:35	7便	15:20	17:15	18:00
8便	15:10	15:55	17:50	8便	16:50	18:45	19:30
9便	17:15	18:00	19:55	9便	18:05	20:00	20:45
10便	19:45	20:30	22:25	10便	20:10	22:05	22:50

(H29.1.1時点)



広島港

〒734-0011
 広島市南区宇品海岸一丁目 13-26
 TEL:082-251-5191



呉港

〒737-0029
 広島県呉市宝町 4-44
 TEL:0823-21-5111



松山港

〒791-8081
 愛媛県松山市高浜町 5-2259-1
 TEL:089-967-6667

船舶諸元

船名	石手川 四万十川
就航隻数	2隻
旅客定員	石手川 342名、四万十川 324名/隻
積載可能車両台数	乗用車 36台/隻



四万十川

セールスポイント

広島と愛媛を結ぶ最短ルート

しまなみ海道を通るルートより走行距離を短くすることができます。
 そのため、運転手の疲労も少なく、安全に且つ正確に目的地までお運びします。



就航航路

広島 - 呉 - 松山

ダイヤ 便数▶10~13便/日

運航	下り便			運航	上り便		
	柳井港発	伊保田港発	三津浜港着		三津浜港発	伊保田港発	柳井港着
日曜 運休	1:00	2:18	3:25	日曜 運休	1:40		4:15
日曜 運休	2:00		4:35	日曜 運休	3:35	4:45	6:05
日曜 運休	4:00		6:25		4:50		7:25
	7:05	8:23	9:30		7:20		9:55
	8:50		11:25		9:40	10:52	12:15
	10:50		13:25		11:40		14:15
	12:25	13:45	14:55		13:45		16:20
	14:45		17:20		15:05	16:17	17:40
	16:05		18:40		17:35		20:10
	17:50	19:10	20:20		19:20		21:55
	18:30		21:05		20:30	21:42	22:50
	20:25		23:00	土曜 運休	21:15		23:50
土曜 運休	22:40		1:15	土曜 運休	23:10		1:45

※上記、伊保田港寄港便は周防大島松山フェリー線の運航となります。

(H28.12月時点)



柳井港
〒742-0021
山口県柳井市柳井 134
TEL:0820-22-3311



三津浜港
〒791-8060
愛媛県松山市三津ふ頭1-1
TEL:089-951-3509

船舶諸元

- 船名 おれんじじゅびたー・おれんじまーきゅりー
おれんじぐれいす
- 総トン数 695トン、696トン、694トン
- 就航隻数 3隻
- 旅客定員 300名(じゅびたー・ぐれいす)
280名(まーきゅりー)
- 積載可能車両台数 大型10台+乗用車6台/隻



セールスポイント

山口県と愛媛県を結ぶ唯一の航路

九州北部から山口県、四国全域の多くの輸送業者様にご利用いただいております。
環境にやさしく、また運転手様が休息できる当航路をよろしく申し上げます。



就航航路
柳井 - 伊保田 - 三津浜

ダイヤ

便数▶10便/日

便	上り便			便	下り便		
	松山観光港	呉	広島		広島	呉	松山観光港
1 便	6:25	8:20	9:05	1 便	5:45	→	8:10
2 便	8:25	10:20	11:05	2 便	6:45	7:30	9:25
3 便	9:35	11:30	12:15	3 便	8:15	9:00	10:55
4 便	11:05	13:00	13:45	4 便	9:20	10:05	12:00
5 便	12:15	14:10	14:55	5 便	11:20	12:05	14:00
6 便	14:15	16:10	16:55	6 便	12:25	13:10	15:05
7 便	15:20	17:15	18:00	7 便	13:55	14:40	16:35
8 便	16:50	18:45	19:30	8 便	15:10	15:55	17:50
9 便	18:05	20:00	20:45	9 便	17:15	18:00	19:55
10 便	20:10	22:05	22:50	10 便	19:45	20:30	22:25

(H29.1.1時点)



松山観光港

〒791-8081
愛媛県松山市高浜町 5 丁目 2259-1
TEL:089-953-1003



呉港

〒737-0029
広島県呉市宝町 4-45
TEL:0823-21-1489



広島港

〒734-0011
広島県広島市南区宇品海岸 1-13-26
TEL:082-253-1212

船舶諸元

船名	旭洋丸、翔洋丸
総トン数	696トン
就航隻数	2 隻
旅客定員	400 名/隻
積載可能車両台数	バス又は貨物 7 台、乗用車 40 台/隻



旭洋丸



翔洋丸

セールスポイント

愛媛と広島を結ぶ最短ルート

しまなみ海道を通るより、走行距離が短く、40トントレーラーも松山～呉間なら乗船OK。
高速道路の重量規制や労務対策に是非弊社フェリーをご活用下さい。



就航航路

松山 - 呉 - 広島

松山・小倉フェリー株式会社

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
営業部:089-967-7181 (物流関係予約)
HP:<http://www.matsuyama-kokuraferry.co.jp>

ダイヤ		便数▶1便/日	
小倉行き 下り便		松山行き 上り便	
松山観光港	→	小倉港	
21:55 発	→	翌朝 5:00 着	
		小倉港	→
		21:55 発	→
		翌朝 05:00 着	

(H29.1.1時点)



松山港

〒791-8081
 松山市高浜町 5丁目 2259-1
 TEL:089-967-7180



小倉港

〒802-0001
 北九州市小倉北区浅野 3-10-31
 TEL:093-521-1419

船舶諸元

船名	フェリーはやとも2 フェリーくるしま
総トン数	4,238トン、4,277トン
就航隻数	2隻
旅客定員	530名/隻
積載可能車両台数	トラック41台、乗用車73台/隻



フェリーはやとも2



フェリーくるしま

セールスポイント

特殊な車両を輸送

四国～九州間においては、本四連絡橋を通行できない特殊な車両を弊社フェリーでは輸送ができることから、利用される事業者の方々には非常に喜ばれています。

また、夜行便（所要時間7時間5分）であるため船中泊ができることで運転手さんの休憩時間として設定されている事業者の方もいらっしゃいます。



就航航路

松山 - 小倉

5-11. 宇和島運輸株式会社



UWAJIMA-UNYUFERRIES

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

営業部:0894-23-2536

HP:<http://www.uwajimaunyu.co.jp>

ダイヤ 便数▶別府6便/日、臼杵7便/日

八幡浜 ↔ 別府					八幡浜 ↔ 臼杵				
便	八幡浜発	別府着	別府発	八幡浜着	便	八幡浜発	臼杵着	臼杵発	八幡浜着
1便	0:20	3:10	5:35	8:25	1便	5:50	8:15	●0:55	3:15
2便	6:20	9:10	9:45	12:30	2便	9:40	12:05	2:40	5:00
3便	10:15	13:05	14:00	16:45	3便	11:45	14:10	8:50	11:10
4便	13:00	15:50	16:45	19:30	4便	15:35	18:00	12:40	15:00
5便	17:25	20:15	20:50	23:35	5便	17:40	20:05	14:40	17:00
6便	20:30	23:20	23:50	2:35	6便	○22:00	00:25	18:30	20:45
					7便	23:50	2:15	20:40	23:00

※○土曜日のみ休航、●日曜日のみ休航。

(H29.1.1時点)



八幡浜港

〒796-0087
愛媛県八幡浜市沖新田 1586 番地
TEL:0894-22-2100



別府港

〒874-0000
大分県別府市南石垣無番地
TEL:0977-21-2364



臼杵港

〒875-0034
大分県臼杵市板知屋大寺浦
TEL:0972-63-5118

船舶諸元

船名	あかつき丸、おおいた えひめ、さくら
就航隻数	4隻
旅客定員	あかつき丸 586名、おおいた 535名 えひめ 610名、さくら 485名
積載可能車両台数	大型トラック 24台または乗用車 150台/隻



あかつき丸



おおいた



えひめ



さくら

セールスポイント

九州エリアへ足を運ぶのに便利な航路

フェリー乗船中は約3時間の休憩時間になり労働時間の短縮、燃料油など運行経費の削減ができます。またシャーシ輸送も可能です。

宮崎・大分県からはフェリーを利用して四国経由にすると関門・山陽道経由より走行距離が約200km短縮されます。



就航航路

八幡浜 - 別府・八幡浜 - 臼杵



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
本社(佐賀営業所):097-575-1020
HP:http://www.koku94.jp/

ダイヤ 便数▶17便/日

下り便			上り便		
便	三崎発	佐賀関着	便	佐賀関発	三崎着
1便	◎6:30	◎7:40	1便	◎6:00	◎7:00
2便	7:30	8:40	2便	7:00	8:10
3便	8:30	9:40	3便	8:00	9:10
4便	9:30	10:40	4便	9:00	10:10
5便	10:30	11:40	5便	10:00	11:10
6便	11:30	12:40	6便	11:00	12:10
7便	12:30	13:40	7便	13:00	14:10
8便	14:30	15:40	8便	14:00	15:10
9便	15:30	16:40	9便	15:00	16:10
10便	16:30	17:40	10便	16:00	17:10
11便	17:30	18:40	11便	17:00	18:10
12便	18:30	19:40	12便	18:00	19:10
13便	19:30	20:40	13便	19:00	20:10
14便	20:30	21:40	14便	20:00	21:10
15便	21:30	22:40	15便	21:00	22:10
16便	22:30	23:40	16便	22:00	23:10
17便	*23:30	*00:40	17便	*23:00	*00:10

◎印は3月16日からの通常ダイヤで運航します。*印は3月15日までの冬ダイヤで運航します。

(H29.1.1時点)



佐賀関港
 〒879-2201
 大分県大分市佐賀関 750
 TEL:097-575-1020(代)
 FAX:097-575-3235



三崎港
 〒796-0801
 愛媛県西宇和郡伊方町
 三崎1700-2
 TEL:0894-54-0173
 FAX:0894-54-0174

船舶諸元

船名	速なみ	遙かぜ	遊なぎ
総トン数	995t	697t	998t
旅客定員	292名	292名	292名
積載可能車両台数	乗用車 48台	乗用車 41台	乗用車 51台
就航隻数	3隻		



速なみ



遊なぎ



遙かぜ

セールスポイント

九州・四国の最短航路

愛媛三崎と大分佐賀間を約70分で結ぶ最短航路です。
 しかも1時間毎のシャトル運航を行っています。



就航航路
 佐賀関 - 三崎

5-13. 株式会社宿毛フェリー

四国～九州を結ぶコバルト色の夢航路

宿毛フェリー

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

本社:0880-62-1107

HP:<http://www.sukumoferry.com>

ダイヤ 便数▶3便/日

下り便			上り便		
便	宿毛発	佐伯着	便	佐伯発	宿毛着
1 便	0:30	3:40	1 便	4:10	7:20
2 便	8:00	11:10	2 便	12:00	15:10
3 便	16:00	19:10	3 便	20:50	0:00

(H29.1.1時点)



宿毛港フェリーのりば

〒788-0013
高知県宿毛市片島 9-34
TEL:0880-62-1100



佐伯港フェリーのりば

876-0801
大分県佐伯市葛港 1-1
TEL:0972-22-7345

船舶諸元

船名	ニューあしずり
総トン数	999t
就航隻数	1 隻
旅客定員	183 名
積載可能車両台数	普通乗用車 60 台または 11tトラック 12 台



ニューあしずり

セールスポイント

高知と九州を結ぶ唯一のフェリー航路

高知県宿毛港と大分県佐伯港を航路距離 78km 所要時間 3 時間 10 分で結びます。
ぜひ当社のフェリーをご活用下さい。



就航航路

宿毛 - 佐伯

ダイヤ

便数▶6便/週(月~土)

各港 / 入出港時刻		
港名	入港	出港
千葉港	5:30	12:00
堺泉北港 下り	8:30	10:00
宇野港	14:00	16:00
三島川之江港	19:00	23:00
堺泉北港 上り	6:00	8:30

(H29.1.1時点)



千葉営業所

〒260-0024
千葉県千葉市中央区中央港 2 丁目 10 番 6 号
TEL:043-204-2201
FAX:043-204-2269

四国営業所

〒799-0402
愛媛県四国中央市三島紙屋町 7 番 35 号
TEL:0896-24-9211
FAX:0896-24-9229



大阪営業所

〒595-0074
大阪府泉大津市小津島町 5 丁目 4 番
TEL:0725-33-1283
FAX:0725-33-2283

岡山営業所

〒706-0001
岡山県玉野市田井 6 丁目 7 番 2 号
TEL:0863-31-7250
FAX:0863-31-7275

船舶諸元

船名	第一はる丸 第二はる丸、第三はる丸
就航隻数	3 隻
最大搭載車両台数	シャーシ 100 台 並びに乗用車 250 台/隻



第二はる丸



第一はる丸



第三はる丸

セールスポイント

1. デイリー輸送(千葉、堺泉北、宇野、三島川之江各港)
2. 無人航送による低コスト化
3. 輸送事故のリスク削減
4. 安定した輸送能力の供給
5. 労務管理の削減
6. CO2 の排出削減



就航航路

千葉 - 堺泉北 - 宇野 - 三島川之江



With Your Life

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
松山支店 三津浜事業所:089-952-2155
 HP:<http://www.nittsu.co.jp/umi/>

ダイヤ 便数▶1便/週

東京 - 九州・瀬戸内航路		
博多港	松山港	東京港
(水) 18:00 発	(木) 2:10 着 / 5:20 発	(金) 5:50 着

苫小牧週5便、釧路週2便就航、詳細はお問い合わせ下さい。(H29.1.1時点)



博多港

福岡市東区 箱崎埠頭



松山港

松山市海岸通 松山外港第一埠頭



東京港

東京都江東区 有明埠頭



苫小牧港

苫小牧市 勇払埠頭



釧路港

釧路市 西港



ひまわり

船舶諸元

船名	ひまわり5 さんふらわあ とうきょう
就航隻数	2隻
最大搭載車両台数	トレーラ 160台/隻 (もしくは乗用車 251台/隻)



ひまわり (博多港)

セールスポイント

日通の総合力で全国主要港からの一貫輸送をご提供

東京港を中継地として、四国～北海道間の積み替えなしの自社一貫輸送をご提供。
 トレーラ輸送だけでなく、コンテナ積載シャーシの投入によって、あらゆるタイプのコンテナ輸送に対応できます。



13mウィングトレーラ



13mフラットベッドトレーラ



12フィートコンテナ



20フィート冷凍コンテナ



40フィートコンテナ

多様なタイプの日通海上コンテナ・トレーラは、輸送ニーズに合わせてお選びいただけます。
 RSV コンテナを利用し、海上・鉄道の一貫輸送も可能。
 (RSV コンテナとは、海上輸送と鉄道輸送の両方に対応できるコンテナ)



就航航路

- 博多→松山→東京
- 東京→苫小牧
- 東京→釧路

6. モーダルシフトによる荷主・ユーザーの喜びの声

事例1 陸送から RORO 船へ転換してコストや事故リスクを低減



利用者様からの声…

- ・リードタイムの増加よりも、安定輸送と輸送コストや事故リスクの削減につながったことに大変満足しています。
- ・京浜工業地帯の石油化学メーカーに対して、トラック輸送から RORO 船へのモーダルシフトを提案したところ、輸送の定形化と CO2 の削減で評価を得られました。

事例2

フェリー利用でドライバーの労務環境を緩和

従来の陸上輸送ルート



転換後の海上輸送ルート



利用者様からの声…

フェリー乗船中は休憩時間になるので、労働環境の緩和につながりました。陸送に比べ、走行距離が約 200km 短縮されるため CO2・燃料の削減も可能になりました。一方、フェリー運賃・本四連絡橋の通行料が必要になるので経費的に負担が増している状況にあるので、今後これらを安くしてもらえると更に利用が増えます。

事例3 フェリー利用で、早く・安全・確実な輸送を実現

例：福岡(県庁)～松山(県庁)の輸送で比較

総距離 / 470km	163km 短縮	総距離 / 307km
総時間 / 6時間 40分	40分短縮	総時間 / 6時間
運転距離 / 470km	224km 短縮	運転距離 / 246km
運転時間 / 6時間 10分	2時間 40分短縮	運転時間 / 3時間 30分
CO2排出量 / 78,700g	37,600g 短縮	CO2排出量 / 41,100g

全て陸路の場合



フェリー利用の場合



利用者様からの声…

しまなみ海道を走るより、フェリーを利用した方が早くて確実に輸送できるようになりました。乗船中の 2 時間 30 分はドライバーにゆっくり休息してもらうことで、事故の危険性も少なくなり安全運転につながっています。

事例4

本四連絡橋を通行できない車両を直接輸送

車両の乗船状況



瀬戸大橋を通行できない長大物
(ラフレーンクレーン)

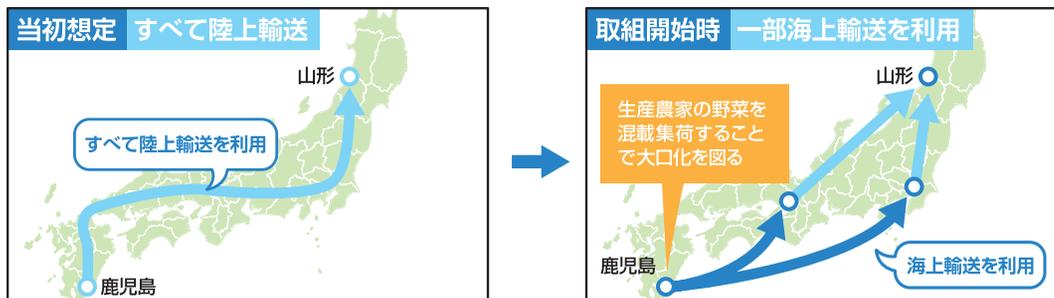


瀬戸大橋を通行できない重量物
(クラブバケット)

利用者様からの声・・・

香川県で生産したクレーン等の車両を本州まで運搬する必要がありますが、本四連絡橋では重量の最大制限値があり通行できません。重量制限のないフェリーを利用することで円滑な物流ルートを確認し輸送することができます。

事例5 複数の小口の貨物を集約(混載)することで大口化し、輸送ルートの一部をフェリー・RORO 船などの海上運搬に



利用者様からの声・・・

山形県の食品加工業者は、通年での野菜の供給を求めていましたが、冬期の関東地区からの安定的な供給が難しくなっていました。一方、鹿児島では冬期の野菜の収穫量が全国でも有数の地域であるものの、鹿児島から山形までの物流費が障害となり敬遠されていました。今回、物流の大口化と船舶使用でのコスト削減で、山形県内の野菜加工業者に低価格での販売が可能となり、鹿児島から山形県内の野菜加工業者に野菜を供給する事になりました。

モーダルシフト等推進事業費補助平成 27 年度採択事業

その他、利用者様からの声・・・

- ・ 2015 年 9 月に労基法が一部改正され、フェリー乗船時間がすべて休憩時間となったので、ドライバーの勤務体制の改善・負担軽減となり安全運行につながりました。
- ・ 四国～九州間で本四連絡橋を通行できない特殊車両を輸送できるため助かっています。また、夜行便(所要時間 7 時間 5 分)のため船中泊ができることで休憩時間として設定しています。



四国におけるフェリー・RORO 船を活用した物流効率化推進協議会

共同事務局 / 四国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 TEL:087-811-8360
四国運輸局 交通政策部 環境・物流課 TEL:087-825-1173

2017.3.13版